

稲永研究室紹介

稲永 健太郎
Kentaro INENAGA

九州産業大学 情報科学部 情報科学科
Faculty of Information Science, Kyusyu Sangyo University
inenaga@is.kyusan-u.ac.jp, <http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~inenaga/>

1. 研究室のこれまで

稲永研究室は、2002年4月の学部開設から4年目の2005年度に初めて学生を迎えた。その後、表1に示すように、2014年3月卒業まで、のべ68名が卒業・修了している。今回の研究室の紹介原稿を執筆するにあたり、その数を確認して年月を重ねてきたことを改めて実感させられた。

表1 稲永研究室卒業生・修了生数

年度	学部卒業生数	大学院博士後期課程修了生数
2005	10	
2006	9	
2007	6	1
2008	8	
2009	8	
2010	7	1
2011	5	1
2012	4	
2013	8	

また、以下に卒業・修了した学生たちが残した卒業論文・修士論文のタイトルを示す。各学生がそれぞれの思い入れを持って、その時代背景を踏まえた研究に取り組み、精一杯執筆してくれた論文ばかりである。当初から現在まで一貫して研究室の学生に語りかけていることは、“自分自身や家族・友人といった身の回りの人たち、そして大学やアルバイト先等々、世の中で問題・課題となっている事柄に対して、ICTを使ってどのようなことができるのかを考えてみなさい”ということである。彼らが自分なりの“解”(ソリューション, solution)をこの論文に残してくれたものと確信している。すべての論文についてそれぞれのエピソードを書きたいところであるが、際限なく文章が続きそういため、タイトル紹介までに留めておきたい。

【2005年度卒業論文】

- ・ 空港における目的地への交通手段検索システムの開発
- ・ RSSを容易に作成するWebサイトの開発

- ・ 企業・商品情報の発信と会員登録システム機能を持ったモバイルサイトの開発
- ・ 交通機関の時刻表情報を含んだQRコード作成ツールの開発
- ・ 汎用WEBアンケート作成支援システムの開発
- ・ PC向けWEBページを簡略化したモバイルWEBページ更新システムの開発
- ・ 各種メディアを利用したアンケートによる意見集約方法の研究
- ・ Web上での企業情報収集システムの開発
- ・ 待ち時間と施設情報を提供するモバイルサイトの開発
- ・ eラーニングシステムの事例調査とオンラインレポート導入支援機能の開発

【2006年度卒業論文】

- ・ 簡易小規模オンラインチケット予約及び顧客情報管理システムの開発
- ・ Webアプリケーションの調査とオンライン家計簿システムの開発
- ・ MIDIを用いた楽曲製作・編集ソフトウェアの開発
- ・ データベースを用いた数学重視のSPIオンライントレーニングシステムの作成
- ・ 車椅子利用者の為の交通手段検索システムの開発
- ・ Mozillaブラウザにおけるブックマークの色彩更新機能の追加
- ・ オンラインレポートシステムにおけるAjaxを利用した描画解答ツールの開発
- ・ 暴言を制限するNGワード機能を追加したチャットシステム作成
- ・ データベースを用いたゴルフのオンライン成績管理システムの開発

【2007年度卒業論文】

- ・ 料理レシピ・カロリー管理システムEAT～料理レシピ管理部の開発～
- ・ ウェブデータベースを用いた映画鑑賞履歴管理システムの作成
- ・ 情報科学部ウェブ履修登録体験システムの開発
- ・ 計算および音を使った目覚ましタイマーiアプリの開発
- ・ 面談予約機能付き教員向けスケジュール管理シ

システムの開発

- ・ 料理レシピ・カロリー管理システム EAT ～カロリー管理部の開発～

【2007 年度修士論文】

- ・ 教員の作業コスト低減を狙った出欠・レポート管理システムの設計と実装

【2008 年度卒業論文】

- ・ 九州産業大学備品管理システムの開発
- ・ FeliCa 技術を用いた大学向け在室・学習記録基本システムの開発
- ・ 地方中小規模青果店における PR 活動への IT 適用の事例研究
- ・ 九州産業大学の資格講座受講申込手続きシステムの開発
- ・ ウェブブラウザにおける解析数学の数式入力・表示ツールの開発
- ・ FeliCa 技術を用いたレシート情報の電子化
- ・ 博多駅情報提供システムの作成
- ・ 簡易型小規模オンラインチケット予約システムにおける顧客情報管理のセキュリティ強化

【2009 年度卒業論文】

- ・ 消費電力削減とコミュニケーション促進を目的としたスケジュール共有システムの開発
- ・ テニスコート予約支援 Web システムの開発
- ・ 店舗レジスターにおけるレシート情報の電子化および提供機能の提案とそのプロトタイプ実装
- ・ 操作量の低減を目指した高齢者向け駅設置時刻表検索システムの開発
- ・ 乗換案内機能を用いた移動スケジュール自動作成 Web アプリケーションの開発
- ・ 食物アレルギー疾患患者向けメニュー提供システムの開発
- ・ 九産大就職活動支援 Web システムの開発
- ・ 省エネ及びエコ活動を促すメッセージの表示ソフトウェアの開発

【2010 年度卒業論文】

- ・ Google サービスを利用した九産大部活動運営支援システムの構築
- ・ エンターテインメントコンテンツ利用履歴管理システムの開発
- ・ コミュニケーション推進を目的としたコミュニティ機能をもつ簡易投稿システムの開発
- ・ ツイッターを利用した外食・中食情報交換支援サービスの構築 ～業者向けインストラクターおよび渉外部～
- ・ ツイッターを利用した外食・中食情報交換支援サービスの構築～オンライン上でのサービス管理部～

- ・ Java 言語から Go 言語へのプログラム変換ルールの作成

- ・ 日商簿記検定 2 級対策支援ソフトウェアの開発

【2010 年度修士論文】

- ・ 情報品質保証のための情報取引支援システムの設計およびプロトタイプ実装

【2011 年度卒業論文】

- ・ 食料品の個人向ネット販売における簡易受発注サイトの開発
- ・ 泳力強化支援システムの開発
- ・ うつ病の未病及び予備軍の為の Android スマートフォン向けアプリケーションの開発
- ・ PC Info Square 九産大店における貸与 PC 管理アプリケーションの開発
- ・ i-gate における簡易新着メール確認機能の開発

【2011 年度修士論文】

- ・ 情報の品質向上を目指した駅情報提供システムの開発

【2012 年度卒業論文】

- ・ 九州産業大学内定報告書 Web 管理システムの開発
- ・ 九州産業大学情報科学部授業評価システムの開発
- ・ 九州産業大学情報科学部科目「計算機システム」向け採点機能付きオンラインレポートシステムの開発
- ・ 福岡市南区シニアクラブ連合会 Web サイトの改良と Facebook の導入

【2013 年度卒業論文】

- ・ 大型飲食チェーン店における店舗独自 Web サイトとデジタルサイネージによる PR 活動の事例研究
- ・ Google サービスを活用した Web シフト管理システムの構築
- ・ Android 端末向け宅配物情報共有アプリケーションの開発
- ・ 一人暮らし向け食品・食費管理のための Android アプリケーションの開発
- ・ カップルがより幸せになる為の Android アプリケーションの開発
- ・ 芦屋タウンバスにおける利用客数計測アプリケーションの開発
- ・ 九州産業大学附属九州高等学校校務用データベースシステムの Web アプリケーション化～システムバックエンド部の開発～
- ・ 九州産業大学附属九州高等学校校務用データベースシステムの Web アプリケーション化～システムフロントエンド部の開発～

2. 研究室の現在

稲永研究室では、ここ数年学外の各種団体とのつながりを持った活動、いわゆる学外連携・地域貢献の機会が増えている。前節の論文タイトルにそのキーワードが含まれているものもあるが、複数年に渡り継続して活動している2つの主要事例を紹介する。

2.1 南区シニアクラブ連合会との連携

2010年度に福岡市南区シニアクラブ連合会（以下、南区シニア連）からウェブサイトの構築・運用の協力依頼があり、それ以降継続して活動を進めている。このウェブサイトでは、連合会の活動内容・状況や所持者（会員）に特典のある「よかばいカード」について紹介する等、会員/非会員向けに幅広く情報を発信し、南区シニア連の活性化を支えている。

2012年4月にウェブサイトを正式に公開し、このことが新聞記事として取り上げられた[1]。また、2013年4月には、facebook ページを開設し、日々の活動の様子をより幅広く発信している。図1および図2は、ウェブサイトおよびfacebook ページの一部をそれぞれ示したものである。



図1 南区シニア連ウェブサイトトップページ

<https://sites.google.com/site/fcmwscf/>



図2 南区シニア連facebook ページ

https://www.facebook.com/minamikusiniakura_burengoukai

この他、今後自立したサイト運用に向けて、2011年度以降、南区シニア連の地域リーダーを主対象としたリーダー研修に協力している。研究室の学生を中心とした有志の学生が、研修会（パソコン研修）での参加会員様への技術指導の補助を担当している。図3は2012年3月、図4は2013年3月にともに本学で実施した際の様子である。このことは全国老人クラブ連合会の月刊誌に取り上げられた[2]。なお、この事例の詳細については、文献[3]を参照されたい。



図3 南区シニア連リーダー研修（2012年度）



図 4 南区シニア連リーダー研修 (2013 年度)

2.2 遠賀郡芦屋町との連携

2013 年度から始まった、福岡県試行事業「ふくおか IT Workouts」において、遠賀郡芦屋町（環境住宅課 交通・公園係）と稲永研究室が連携し、コミュニティバス「芦屋タウンバス」の利用促進に向けた各種活動を進めている。

従来まで現金支払の利用客数のみ把握できていたため、2013 年度は、定期券での利用客数を含めより正確な利用者数を把握するために、タブレット型端末向けアプリを開発し調査を実施した。この調査では、バス利用者が降車する際に、タブレット型端末のアプリ画面をタッチしてもらうことで、GPS（位置）情報と日時が記録されバス停毎の降車数を把握できる仕組みを構築した（図 5、図 6 参照）。

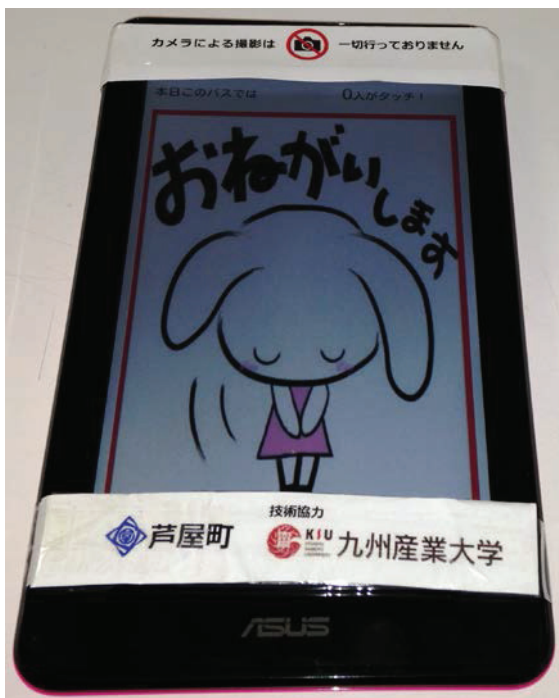


図 5 設置タブレット型端末 (2013 年度版)



図 6 タブレット型端末の車内設置 (2013 年)

2014 年度は、客数に加え利用者属性や利用目的等を把握するため、タッチの際に 4 つの選択肢から 1 つを選んでもらう形で、簡単なアンケート調査ができる仕組みに改良した（図 7、図 8 参照）。



図 7 設置タブレット型端末 (2014 年度版)



図 8 タブレット型端末の車内設置 (2014 年度)

2013 年度および 2014 年度の活動ともに、アプリ開発という“デジタル”系の活動だけでなく、実際に現場であるバス車両に乗り込み、利用客に調査協力の声かけを行う等の“アナログ”系の活動にも積極的に学生が取り組んでくれたことに敬意を表したい（図 9 参

照).

40040534000c.html , 2014 年 9 月



図 9 バス車内での学生の声かけ活動

これらの取組みは、2014 年 8 月 25 日夜および 26 日朝の福岡地域向け NHK ニュースや、西日本新聞の記事[4][5]、毎日新聞の記事[6][7]として取り上げられた。

3. 研究室のこれから

これまでに紹介した取組み事例以外にも、九州産業大学付属九州高校や千早校区自治連合会との連携、福岡県警サイバーパトロールモニターへの参加等、さらに活動の幅を広げようとしている。いずれも研究室学生が、ICT を使って何らかの“解”を出してくれるものと期待している。指導教員として、それを最大限にサポートできるよう精一杯努力し続けたい。

◇ 参考文献 ◇

- [1] 西日本新聞社：IT化で会員増やせ 南区シニアクラブ連がHP、西日本新聞 2012 年 5 月 31 日朝刊
- [2] 公益財団法人 全国老人クラブ連合会：月刊「全老連」2013 年 8 月号, p.5,
<http://www.zenrouren.com/month/pdf/1308.pdf> ,
2013 年 8 月
- [3] 稲永健太郎：福岡市南区シニアクラブ連合会ウェブサイトの構築,九州産業大学情報科学会誌第 11 巻 1 号, pp.34-36, 2012 年 11 月
- [4] 西日本新聞社：九産大と連携 端末使い調査,西日本新聞 2014 年 9 月 1 日朝刊 (北九州・筑豊版)
- [5] 西日本新聞社：バス降車時,タブレットをタッチ, qBiz 西日本新聞経済電子版,
<http://qbiz.jp/article/44974/1/> , 2014 年 9 月
- [6] 毎日新聞社：町営バスでタブレット使いアンケート,毎日新聞 2014 年 9 月 9 日朝刊 (北九州)
- [7] 毎日新聞社：わがまち・マイタウン:町営バスでタブレット使いアンケート—芦屋 /福岡, 福岡 アーカイブ - 毎日新聞,
<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20140909ddlk>